

緊急消防援助隊のブロック訓練と全国訓練について

平成 26 年 1 1 月
消防庁

緊急消防援助隊合同訓練の実施状況

平成26年度ブロック訓練 毎年度実施
(全国6ブロック 合計1,100隊 4,300人が参加)

北海道東北ブロック
青森県 弘前市
10月22日(水)～23日(木)
参加：212隊 793人

中部ブロック
石川県 珠洲市
11月15日(土)～16日(日)
参加：126隊 523人

九州ブロック
福岡県 久留米市
11月22日(土)～23日(日)
参加：168隊 721人

中国・四国ブロック
岡山県 岡山市
11月1日(土)～2日(日)
参加：188隊 743人

関東ブロック
静岡県 浜松市
11月5日(水)～6日(木)
参加：296隊 1,180人

近畿ブロック
和歌山県 田辺市等
10月18日(土)～19日(日)
参加：123隊 482人



平成27年度全国訓練 5年毎に実施
11月13日(金)～14日(土) 千葉県にて開催予定

- 東日本大震災の経験を踏まえた実践的訓練
- 自衛隊・警察・DMAT等各関係機関との連携
- 大規模石油コンビナート火災等への対応訓練



緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練における実動部隊の連携事例

○ 消防+警察+自衛隊 現場合同指揮所訓練

・消防、警察、自衛隊による活動方針の決定、現場活動の地区割り等の調整を行うための現場合同指揮所運営訓練を実施。



○ 消防+警察 合同救助訓練

・土砂崩れによる建物倒壊や車両埋没、中州の孤立者救助等において、警察と消防が大規模な救助部隊を迅速に投入し、連携する合同救助訓練を実施。



○ 消防+DMAT 応急救護訓練

・多数の傷病者が発生した現場において、消防が救助・救急搬送し、DMATがトリアージや応急救護等を行う訓練を実施。



○ 消防本部+消防団+自衛消防組織 合同救助訓練

・地元精通した消防団との救助訓練や石油コンビナート地区の事業所で組織された自衛消防組織と連携した大規模危険物火災対応訓練を実施。



緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練における実動部隊の連携事例

○ 消防+自衛隊 人員・車両等輸送訓練

・救助隊の車両や消防隊員を被災地直近の空港やヘリポートまで自衛隊の航空機及び大型ヘリコプターで迅速に投入する輸送訓練を実施。



○ 消防+自衛隊+民間団体(JAF等) 道路啓開訓練

・自衛隊の重機及び自走架柱橋等の活用やJAFによる車両の排除など、各機関と連携した道路啓開訓練を実施。



○ 消防+警察+自衛隊+海上保安庁 情報通信訓練

・防災機関(警察、自衛隊、海上保安庁)共通の防災相互波や自衛隊が保有する新型防災無線機を活用し、各機関で情報共有を図る情報通信訓練を実施。



○ 消防+海上保安庁+DMAT 救助・救急活動訓練

・海保、消防がヘリコプターを活用し、津波による漂流者を救助し、海上保安庁船舶に緊急に着船し、DMATが応急救護を行う訓練を実施。



平成26年度緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練 概要(その1)

ブロック	北海道東北	関 東	中 部
日 程	10月22日(水)～23日(木)	11月5日(水)～6日(木)	11月15日(土)～16日(日)
場 所	青森県弘前市	静岡県浜松市	石川県珠洲市
想 定	津軽山地西縁断層帯地震(直下型)	遠州灘沖地震(海溝型)	能登半島東方沖地震
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ① 陸上自衛隊第9師団の自走架柱橋による進路啓開・連携訓練。 ② 国土交通省TEC-FORCE車両の参加(照明車、衛星通信車等)。 ③ 重機等を活用した他機関との連携訓練(土砂災害救出訓練等)。 ④ 消防防災ヘリによる孤立地区住民の救助訓練。 ⑤ 自主防災組織による訓練との一部連携(上記④関連)。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 24時間継続した指揮支援本部・部隊運用訓練。自衛隊、警察等の関係機関も参加。 ② 複数の被災地を想定し、他市への部隊移動を考慮した実践訓練。 ③ 自衛隊、警察との合同宿営。 ④ 自衛隊C-1輸送機による緊急消防援助隊の車両及び人員の輸送。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域特性に応じた冠水地区想定訓練(水陸両用車活用)。 ② 全地形対応車両を活用した土砂災害対応訓練。 ③ 自衛隊C-130H輸送機による車両及び人員輸送。 ④ 消防防災ヘリによる海上保安庁船艇(甲板)への津波漂流者搬送訓練。 ⑤ 消防団、自主防災組織等との連携訓練(県防災訓練と連携)。
消防団	10名(弘前市消防団)	30名(浜松市消防団、磐田市消防団)	10名(珠洲市消防団)
関係機関	14機関 合計288名 <ul style="list-style-type: none"> ① 陸上自衛隊 ② 海上自衛隊 ③ 青森県警察本部 ④ 青森県DMAT ⑤ 青森県ドクターヘリコプター ⑥ 日本赤十字社青森県支部 ⑦ 総務省東北総合通信局 ⑧ 国土交通省 ⑨ 北東北捜査犬チーム ⑩ 青森県解体工事業協会 ⑪ 青森県石油商業協同組合 ⑫ 弘前市医師会 ⑬ 東北電力 ⑭ 常盤野町自主防災会 	9機関 合計222名 <ul style="list-style-type: none"> ① 陸上自衛隊(第34普通科連隊) ② 航空自衛隊(浜松基地) ③ 静岡県警察本部 ④ 静岡DMAT ⑤ 静岡県ドクターヘリコプター ⑥ 浜松医大附属病院ほか6病院 ⑦ 国土交通省(中部地方整備局) ⑧ 静岡県西部地区建設業協会 ⑨ 静岡県西部解体工事業協会 	12機関 合計190名 <ul style="list-style-type: none"> ① 陸上自衛隊(第14普通科連隊) ② 海上自衛隊(舞鶴地方総監部) ③ 航空自衛隊(第6航空団ほか) ④ 海上保安庁(第9管区) ⑤ 石川県警察本部 ⑥ DMAT ⑦ 国土交通省(北陸地方整備局) ⑧ 珠洲市自主防災組織 ⑨ 石川県救助犬協会連合会 ⑩ JKC災害救助犬 ⑪ JAF石川支部 ⑫ 北陸鉄道

平成26年度緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練 概要(その2)

ブロック	近畿	中国・四国	九州
日程	10月18日(土)～19日(日)	11月1日(土)～2日(日)	11月22日(土)～23日(日)
場所	和歌山県田辺市・白浜町・串本町	岡山県岡山市	福岡県久留米市
想定	南海トラフ地震(海溝型)	岡山市地震・瀬戸内市牛窓沖地震 (直下型・海溝型)	水縄断層西部地震(直下型)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ① 実災害に即し、複数の被災地を想定した分散型訓練の実施。 ② 自衛隊C-130H輸送機による緊急消防援助隊の車両及び人員の輸送。 ③ 部隊参集等の実動訓練とリンクさせた長時間図上訓練の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 民間事業所(株クラレ岡山事業所)の自衛消防組織と連携した危険物火災対応訓練。 ② 民間フェリーによる海上輸送の検証。 ③ 県内災害拠点病院及び消防本部ヘリポートを活用した患者・物資輸送訓練。 ④ 自衛隊ヘリUH-1による住民避難訓練及び空中消火訓練。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 陸上自衛隊第4師団の毒劇物対応部隊との連携訓練。 ② 陸上自衛隊重機の活用した他機関と連携した土砂災害対応訓練。 ③ 消防団と連携した消火訓練等の実践型訓練。
消防団	132名(田辺市消防団、白浜町消防団、串本町消防団)	70名(岡山市消防団)	70名(久留米市消防団)
関係機関	<p>7機関1,660名</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 陸上自衛隊 ② 海上自衛隊 ③ 航空自衛隊 ④ 海上保安庁(第5管区) ⑤ 和歌山県警察本部 ⑥ DMAT ⑦ ネクスコ西日本 	<p>13機関185名</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 陸上自衛隊 ② 海上保安庁(第6管区) ③ 岡山県警察本部 ④ DMAT ⑤ 岡山県ドクターヘリコプター ⑥ 日本赤十字社岡山県支部 ⑦ ネクスコ西日本 ⑧ 日本レスキュー協会 ⑨ S&Rドッグ吉備アウフ ⑩ クラレ岡山事業所 ⑪ 岡山県建設業協会 ⑫ 番川漁協 ⑬ 山陽学園 ⑭ 岡山赤十字看護専門学校 	<p>11機関387名</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 陸上自衛隊 ② 福岡県警察本部 ③ 九州管区警察局 ④ 国土交通省(九州地方整備局) ⑤ 九州救助犬協会 ⑥ DMAT ⑦ 日本赤十字社福岡支部 ⑧ 久留米大学病院 ⑨ 聖マリア病院 ⑩ 筑後市立病院 ⑪ ヨコクラ病院

第5回緊急消防援助隊全国合同訓練(平成27年度)イメージ

H27 全国訓練の重点推進事項

- ① 首都直下地震、南海トラフ地震等を想定した緊援隊の全国からの迅速かつ大規模な参集、部隊輸送の複数化・多重化
- ② ドラゴンハイパー・コマンドユニット等新設部隊や無償使用車両の運用
- ③ 被災地に精通した地元消防団等との連携
- ④ 実動関係機関(自衛隊、警察、海上保安庁、TEC-FORCE、ドクターヘリコプター、DMAT等)との連携
- ⑤ ブラインド型訓練、夜間訓練、石油コンビナート地区における訓練等の実践的訓練

第4回実績(愛知県実施)
411隊 2,138名

第5回全国訓練イメージ図



指揮支援本部等運営訓練会場

【千葉県庁 他】

場所: 千葉県千葉市中央区 他

【訓練項目】

- 災害対策本部訓練
- 消防応援活動調整本部訓練

サテライト会場(実動部隊との連携)

訓練場所: 調整中

【訓練項目】

- 輸送連携訓練
- 現地合同指揮所訓練
- 道路啓開訓練

サテライト会場(宿営・夜間)

【蘇我スポーツ公園】

場所: 千葉県千葉市中央区

メイン会場

【消防学校移設予定地】

場所: 千葉縣市原市菊間

面積: 約11.5ha(部隊運用訓練)

【主な訓練項目】

- ビル倒壊事故救出訓練
- 橋梁倒壊事故救出訓練
- 大規模火災消火訓練
- 津波災害対応訓練
- ヘリコプター訓練(空中消火)

サテライト会場(コンビナート災害)

【京葉臨海コンビナート地区】

場所: 千葉縣市原市

【訓練項目】

- 大規模危険物火災対応訓練
- ※「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」
- 「自衛消防組織」合同訓練